

「食の中村」が目指す地域貢献
学校給食の安定化、災害時の備蓄食の製造
『新ケータリングセンター(仮称)』2027年1月竣工予定

学校法人中村学園（所在地：福岡県福岡市、理事長：中村紘右）は、収益事業部門である中村学園事業部が運営する新ケータリングセンター（所在地：福岡県那珂川市）を、2027年1月に竣工予定となりました。

中村学園事業部の学校給食サービス

中村学園事業部は、本拠地福岡県で1992年に学校給食サービスを始め、現在福岡県内の公立小学校給食トップクラスの運営委託をいただいています。すべての自治体や学校にエリアマネージャーを巡回し、関係者様と密接な関係を築き、安心してお任せいただける学校給食を提供しています。

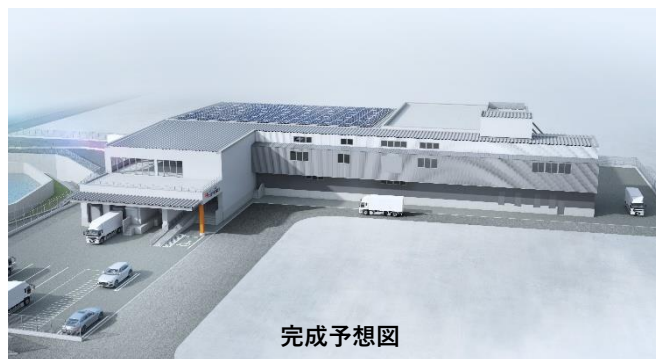
新ケータリングセンター（仮称）の概要

本施設は、学校給食の加工調理及び「備蓄食」の製造を行う工場を設置し、学校給食において今後、国が推進する完全給食ならびに無償化に伴う、各市町村からの今後の給食形態



の変更も鑑み、生産体制の増産を図るものとして、新たな拠点として建設する運びとなりました。

また一方では、有事の際にともなう「備蓄食」の製造販売を目的としたレトルトパウチ工場を併設し、学校給食をはじめとする大量調理において、培ったエビデンスをもとに、より高い安全性、より栄養価豊かな「備蓄食」の製造販売を実現する拠点として整備いたしました。



完成予想図

【施設の特徴】

- ①HACCPの考え方を取り入れた衛生的な施設設計
- ②大量調理に対応した最新設備の導入
- ③省エネルギー設備や井水活用による環境配慮型運営

【施設概要】

名称：新ケータリングセンター（仮称）
所在地：福岡県那珂川市中原東1丁目
構造：S造2階建
延床面積：約4,765.43㎡（約1,441.03坪）
竣工：2027年1月（予定）
稼働開始：2027年4月（予定）
生産能力：学校給食 1日/6,000食供給、備蓄食生産 1日/8,000食の供給

今後の展開

本施設を中核拠点として、学校給食事業の安定供給を図るとともに、先駆的な開発をもとに将来的には新たな食関連事業の創出や地域ニーズへの柔軟な対応を視野に入れ、地域社会へのさらなる貢献を目指してまいります。目指すべきものとして、料理とは単なる栄養供給ではなく心を形にする営みであり、この思いやりを幅広い世代に伝えていくことを使命として食事に責任をもつ法人として事業を推進いたします。

本件に関する取材の問合せ先

学校法人 中村学園 中村学園事業部 経営企画本部／担当：飯田、平島、猪川
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-1-7
TEL(直通) 092-441-2739 Mail : info@nakamura-jigyobu.jp